

7 月定例記者会見 市長原稿

それでは、7月の定例記者会見を始めます。

今月も、情報提供の前にまちの話題を一つ紹介させていただきます。

8月14日、関東鉄道竜ヶ崎線は開業125周年を迎えます。現在も多くの市民の皆様に“竜鉄”の愛称で親しまれ、ご利用いただいておりますが、その歴史は、町の人々の強い思いから始まりました。

その当時、龍ヶ崎の中心部は、常磐線の計画ルートに入らなかったため、“町民自ら”がその接続構想を立ち上げ、実現に向けて奔走しました。そして様々な苦難を乗り越え、1900 年の常磐線佐貫駅の誕生と同時に、佐貫と龍ヶ崎を結ぶ“竜鉄”を開業させ、以来、現在に至る長い歴史を刻んでいます。

余談ですが、「反対運動によって常磐線が龍ヶ崎中心部を避けた」という、まことしやかな「鉄道忌避伝説」がありますが、現実には「建設費を抑えるため、短距離かつトンネルや橋の少ないルートが選ばれた」というのがその理由で、龍ヶ崎での反対運動はなかったと言われています。

“竜鉄”の歴史には、「市民が自ら考え、行動し、協働してまちを動かす」という、現在の本市のまちづくりの基本姿勢に通じる精神が宿っています。

こうした歴史を振り返りますと、「自分たちのまちは、自分たちの手で良くしていく」という姿勢こそが、まちの活気や快適さを生む原動力なのだと、感慨深く思い、竜鉄開業 125 周年の節目にあたり、改めて、こうした歴史とまちづくりの原点を皆様とともに見つめ直すきっかけになればと願っているところです。

なお、8月4日発行予定の広報紙『りゅうほー』8月号でも、竜鉄 125 周年を特集として取り上げる予定です。ぜひご覧いただければと思います。

それでは、本日の情報提供に入ります。

初めに「たつのこワクワクワーク」の情報です。

消防士や鉄道の車掌さんなど、こどもたちがあこがれの仕事を体験できる、こども向け職業体験イベント「たつのこワクワクワーク」を、夏休み期間中の 8 月 20 日・水曜日から 8 月 31 日・日曜日にかけて開催します。

開催は今回で4回目となりますが、今年度は職業体験の数を昨年度の 15 箇所から 19 箇所へ、参加定員を約 250 人から、約 300 人へ拡大しました。これにより、申込み者数は約 450 人、延べ申込み約 1,800 件と、前年度を大きく上回る応募をいただき、年々認知度や期待感が高まっていることを実感しています。

今回協力いただく事業者の皆様には、本事業の趣旨に賛同いただき、こどもたちに貴重な学

びと体験の場を提供いただきますことを、改めて感謝申し上げます。

また、今年度はこどもたちが働いたお給料として、市内商業施設「たつのこまち龍ヶ崎モール」で利用できる500円分の商品券を提供いたします。こどもたちにとっては、楽しい体験というだけでなく、“働くことの意義”や“社会の一員として役割を担うこと”について考えてもらう貴重な経験となることを期待しています。

また、報道の皆様の取材に関しましては、今年初めてご協力いただく事業者をお願いしまして、取材対象日を2日設けました。

取材ができるプログラムは「憧れのパティシエになってスイーツづくり！ ケーキ屋さんのお仕事」と、「自然あふれる、公園の裏側をパトロール！ 公園管理のお仕事」の二つです。

日時、場所は、「ケーキ屋さんのお仕事」が8月22日・金曜日・午後2時から松葉3丁目のアルドール龍ヶ崎本店で、「公園管理のお仕事」が8月28日・木曜日・午後3時から、泉町の龍ヶ崎市森林公園・アドベンチャーバレー龍ヶ崎です。

報道機関の皆様におかれましては、ドキドキ・ワクワクな気持ちで職業体験をすることこどもたちの姿を、ぜひ取材いただきたいと思います。

続きまして、本市が運営する、市外在住の方向けの会員制度、龍ヶ崎ファンクラブ事業の会員数が、令和7年7月20日・日曜日に大台の1,000人を突破したというお知らせです。

本市の「龍ヶ崎ファンクラブ事業」は、市外にお住まいの方で「龍ヶ崎が好き」「関わりたい」「応援したい」という方に会員登録をしていただき、龍ヶ崎市の「ファン」や「担い手」を増やしていく取り組みで、令和4年3月28日の事業開始から3年が経過しました。

この会員数が、今年7月20日に1,000人を突破し、記念すべき1,000人目の会員となった、つくば市在住の渡辺さんには、記念証を贈呈しました。後日、記念品もお送りする予定です。

3年で会員1,000人を達成したことで、この事業が確かな軌道に乗ってきていると感じております。

昨年7月には、本事業に賛同した市内事業者、店舗での会員限定サービスや、イベント開催時の景品提供などで協力いただく「龍ヶ崎ファンクラブ協力事業」を開始し、まちぐるみで事業をサポートする体制も整ってきております。

今後さらなる会員増に向けて、本市の魅力に磨きをかけ、それを広く周知していくとともに、会員の皆さんの満足度を上げ、推奨・参画意欲の向上を図っていきたいと考えております。

なお、8月中旬にはこの協力事業者の皆さんにご協力いただいて、会員1,000人達成記念のスタンプラリーも企画しております。詳細が決まり次第ご案内申し上げます。

最後に「小学生交通安全推進リーダー研修会」に関する情報です。

「交通安全推進リーダー」は、龍ヶ崎警察署と龍ヶ崎市交通安全母の会が連携して、昨年、取り組みを始めたもので、小学校高学年の児童をリーダーに任命し、低学年のお手本になってもらうことで、交通安全の意識を高めていくものです。

昨年12月に、市内11小学校の当時5年生を、各校2人ずつリーダーとして任命し、現在22人が活動しています。

今回の研修会は、この22人が最高学年の6年生になり、実際に低学年への指導などを行う機

会が増えることから、登下校時の安全確保や正しい交通ルールに関する知識をさらに深めてもらおうと開催するものです。

期日は、夏休み期間中の8月21日で、会場は水戸市の「茨城県警察本部」と、ひたちなか市の「自動車安全運転センター安全運転中央研修所」です。

警察本部では、110番通報システムや交通管制センターなどを見学し、安全運転中央研修所では、交通事故の衝撃や、内輪差による巻き込み事故の危険性などをスケアードストレイトにより目の前で体験したり、模擬道路で実際に自転車を運転して、自転車走行時の危険回避について学んだり、路上での安全確保・事故回避の知識と意識を高めてもらう予定です。

本研修が本市の交通安全推進リーダーたちの交通安全意識を高め、下級生をはじめ、広く子どもたちの間に波及していくことを願うとともに、登下校時や日常生活の安全につながっていくことを心から願っています。